

コヴィントン

北京 ブリュッセル ドバイ フランクフルト ヨハネスブルグ
ロンドン ロサンゼルス ニューヨーク パロアルト
サンフランシスコ ソウル 上海 ワシントン

ブライアン D. スミス

コヴィントン & バーリング法律事務所
One CityCenter
850 Tenth Street, NW
Washington, DC 20001-4956
電話 +1 202 622 5090
bdsmith@cov.com

2019年12月2日

ラジャ・クリシュナムルティ議員
経済および消費者方針に関する小委員会
監督および改革に関する委員会
米国下院
Washington, D.C. 20515

クリシュナムルティ委員長殿:

この手紙は、クライアントであるジョンソン・エンド・ジョンソンを代表して、ジョンソン・エンド・ジョンソンの会長兼最高経営責任者であるアレックス・ゴルスキー氏への、2019年12月10日の小委員会の聴聞会で「タルクでのアスベストを検出するために使用される方法」についての証言を求める最近の招待状についてのものです。私たちは、キャスリーン・ウイドマー氏またはマシュー・サンチェス博士が聴聞に出席する提案を再検討していただくようお願いいたします。ウイドマー氏はジョンソン・エンド・ジョンソンの北米消費者部門の会長であり、ジョンソン・ベビーパウダーを含む北米のジョンソン・エンド・ジョンソンの消費者事業のすべてを監督しています。消費者部門は、売上高100億ドルを超える、同社の非常に大きなセグメントです。7,500人の従業員、9つのホームオフィス、複数の製造工場を有しています。重要なことは、ウイドマー氏は、会社の消費者事業について直接的な知識があり、説明責任を負う最高レベルのエグゼクティブであることです。サンチェス博士はタルク検査法に関する専門家として認められています。小委員会スタッフとすでに話し合い、また以下で説明するように、ゴルスキー氏の経歴はこの分野にはなく、タルク検査方法に関する直接的な知識もありません。

ご存じのとおり、2019年を通して、ジョンソン・エンド・ジョンソンは、タルクおよびタルクの安全性に関する小委員会の質問に答えるために、小委員会の他のメンバーおよび小委員会スタッフと協力してきました。ジョンソン・エンド・ジョンソンは、これらの重要な公共政策の問題に対処するため、小委員会と協力して取り組んでいます。

3月初旬、小委員会のスタッフは、タルクの安全に関連する問題について、ジョンソン・エンド・ジョンソンからの説明を要請しました。3月8日、ジョンソン・エンド・ジョンソンの安全監視およびリスク管理担当副社長であるスーザン・ニコルソン博士は、小委員会スタッフにタルクの安全性に関する詳細な説明を行い、スタッフからの多くの質問に回答しました。3月12日の小委員会の公聴会に先立ち3月11日、ジョンソン・エンド・ジョンソンは、小委員会メンバー全員に長い手紙を提出しました。この手紙は、ジョンソン・エンド・ジョンソンのコスメティック・タルクとジョンソンのベビーパウダーが安全であり、アスベストで汚染されておらず、癌を発生させないことを示す数十年の検査をまとめたものです。その提出に記載されているように、ジョンソン・エンド・ジョンソンは、ベビーパウダー、コスメティック・タルク、タルクの安全性に関するオープンで透明性のある情報を提供するための重要なリソースを有しており、専用ウェブサイト「タルクについての事実」(www.factsabouttalcc.com)で、コスメティック・タルクに関する数十年にわたる情報をカバーする研究、手紙、その他の資料を1,500件以上掲載しています。

コヴィントン

ラジャ・クリシュナムルティ議員

2019年12月2日

ページ 2

3月下旬には、ジョンソン・エンド・ジョンソンにさまざまな文書がリクエストされました。ジョンソン・エンド・ジョンソンのタルク供給業者に関する文書および情報の要求、アスベストに関する検出レベル、アスベスト検査方法、アスベスト検査結果、販売数量、マーケティング資料、その他がカバーされています。4月と5月にジョンソン・エンド・ジョンソンは、貴殿の番号の付いた要求書それぞれに応じて資料を提出しました。ジョンソン・エンド・ジョンソンは、合計で約10,000ページの資料を提供しました。さらに、タルクの検査に関連する300,000ページを超える資料を提供することを申し出ましたが、小委員会スタッフは受け取ることを拒否しました。

ジョンソン・エンド・ジョンソンの3月11日の提出について要約すると、これらの文書は、ジョンソン・エンド・ジョンソンが、コスメティック・タルクの安全性を確保するために、数十年にわたって厳格な検査方法を十分に使用していることを示しています。アスベストなどの鉱物を特定および特徴付けるには、複数の異なる分析方法が存在します。1976年、化粧品業界は、コスメティック・タルクの安全性を確保するための、CTFA J4-1仕様と呼ばれる検査基準を確立しました。J4-1基準では、X線回折(「XRD」)および追加スクリーニングが必要な場合は偏光顕微鏡検査(「PLM」)が必要です。ジョンソン・エンド・ジョンソンでは、XRDおよびPLMの使用を義務付けています。必要に応じて数十年間、実際に、現在は医薬品グレードのタルクがアスベストを含まないことを確認するため、米国薬局方の推奨事項に従って両方の方法を使用しています。米国薬局方およびJ4-1基準に従ったXRDおよびPLMの使用に加えて、同社のコスメティック・タルクを評価するため、第三者の検査機関に依頼し、透過型電子顕微鏡検査(「TEM」)を使用しています。ジョンソン・エンド・ジョンソンは数十年にわたり、TEM検査を義務付けてきましたが、それを実現することで数十年にわたり業界標準を上回ってきました。ジョンソンのベビーパウダーで使用されるコスメティック・タルクは、タルクが採掘される場所、鉱石の抽出後、製粉後など、複数回にわたり検査されます。

アスベストの検査は非常に専門的で技術的な分野です。ジョンソン・エンド・ジョンソンは、適切な検査方法について会社に対する助言を専門家に依頼し、検査を実施し、結果を分析しています。これらの分析は、鉱物の形態、組成、および結晶構造を決定するために使用されます。タルクなどの鉱物は、化学的特性、結晶構造、アスベストに類似した形態属性を持つことがあるため、科学的分析は複雑であり、さらに高度な専門知識とトレーニングを必要とします。ジョンソン・エンド・ジョンソンが小委員会に提出したタルクに関連する重要な資料に反映されているように、タルク検査はMcCrone Associates、RJ Lee Group、および国立労働安全衛生研究所を含むさまざまな専門家によって実施されました。ジョンソン・エンド・ジョンソンの検査体制は、医薬品グレードのタルクに関する業界標準と米国薬局方の推奨事項の両方を上回っています。一連の方法を使用したジョンソン・エンド・ジョンソンの広範にわたる検査記録により、タルクにアスベストが含まれていないことが確認されます。

公聴会の招待を受け取った後、当社では、小委員会スタッフとの電話会議を要請しました。11月20日水曜日の電話会議で、ジョンソン・エンド・ジョンソンは、タルクにアスベストが含まれているかどうかを検出するために使用される検査方法を調べるという小委員会の関心を支持することを伝えました。タルク検査の特殊性と技術的性質を考えると、ゴルスキー氏は公聴会で計画されている科学的トピックの適切な証人ではないことに注目しました。ジョンソン・エンド・ジョンソンは、小委員会と協力して、地質学、鉱物学、顕微鏡検査などの公聴会で科学的問題について話すことができる科学専門家の提案に関心があることを表明しました。小委員会スタッフは、ヒアリングのための立会人に対する公聴会の提案についてオープンな立場を示し、金曜日に潜在的な証人を考慮し、当事務所は小委員会スタッフと再び会うことに同意しました。

コヴィントン

ラジャ・クリシュナムルティ議員

2019年12月2日

ページ 3

11月22日金曜日、小委員会スタッフとのフォローアップ会話で、私たちは、マシュー S.サンチェス博士が12月10日の公聴会でジョンソン・エンド・ジョンソンを代表して証言することを提案しました。サンチェス博士は、鉱物学、地質学、顕微鏡検査の専門知識と、XRD、PLM、TEMを含むアスベストの検出に使用される検査方法の特定の専門知識を持っているため、公聴会の理想的な証人になることを伝えました。2007年以来、サンチェス博士はRJ Lee Groupの科学者、マネージャー、調査員を務めています。RJ Lee Groupは、タルクの検査方法についてアドバイスするためにジョンソン・エンド・ジョンソンが信頼している主要な社外専門家の1人です。私たちは、サンチェス博士の履歴書を小委員会スタッフに提供することに同意し、その日の午後に提出しました。サンチェス博士の経歴受領を受けて、小委員会スタッフは直ちに応答し、「12月10日にゴルスキー氏が証言することを期待している」と述べています。

11月25日月曜日に、私たちは小委員会スタッフと話しました。ゴルスキー氏は公聴会のトピックの経歴を持たないため、公聴会の適切な証人ではないことを私たちは繰り返しました。ジョンソン・エンド・ジョンソンは約220社からなる家族であることが示されました。ジョンソン・エンド・ジョンソンのビジネスの医薬品サイドから出てきゴルスキー氏は、同社の消費者およびベビー部門でサービスを提供した経験はありません。また、ゴルスキー氏がタルクの問題について公に証言したり話したりしたことがあるという小委員会スタッフの主張に対し、私たちは、ゴルスキー氏のタルクに関する公的および私的声明は、彼と会社が社外の専門家に依存していることを繰り返して明らかにしていることに注目するよう述べました。

11月25日の電話で、小委員会スタッフは、タルク検査の方法論に外部の専門家を使用しているにもかかわらず、小委員会が社内の証人から話を聞きたいという意向を述べました。そこで、ジョンソン・エンド・ジョンソンのコンシューマー・ビジネス部門の責任者であるジョンソン・エンド・ジョンソンの北米消費者製品グループ会長キャスリーン・ウイドマー氏が公聴会に出席することを提案しました。ジョンソン・エンド・ジョンソンの構造を考慮すると、キャスリーン・ウイドマー氏は、CEOと同等のレベルで業務を行い、消費者製品セクターで何十年もの経験を持っています。さらに、パーソナルケア製品カウンセラーの役員取締役を務めるなど、消費者の安全に関連するポリシーの問題に対処した経験もあります。小委員会スタッフは、ウイドマー氏の経歴に関する追加情報を提供するように要請し、私たちはその日のうちにこれを提出しました。

11月27日水曜日、小委員会スタッフはフォローアップの電話連絡を要求しました。その電話で、小委員会スタッフは小委員会がウイドマー氏を公聴会に出させるという私たちの提案を検討したことを示しました。小委員会スタッフは、小委員会がゴルスキー氏への招待状を修正するつもりはなく、「招待状は未解決」となったことを伝えました。私たちは、ジョンソン・エンド・ジョンソンは小委員会と協力することを約束しているが、ゴルスキー氏は議論すべき科学的問題についての知識がなく、消費者事業部門の経歴を持っていないことを伝えました。対照的に、サンチェス博士およびウイドマー氏は、これらの2つの問題について話すことができます。

ジョンソン・エンド・ジョンソンが小委員会と協力し、公聴会であなたと小委員会スタッフと協力することを実証したことを繰り返します。私たちは、公聴会の招待状で特定されたトピックに関する重要な経験と専門知識を持つ2人の証人と、その後の小委員会スタッフとの議論を提供しました。上記の点を考慮し、12月10日の公聴会でジョンソン・エンド・ジョンソンの代表として、サンチェス博士、ウイドマー氏、またはその両方が出席するという申し出を再検討することを強く要請します。

コヴァントン

ラジャ・クリシュナムルティ議員

2019年12月2日

ページ 4

よろしくお願ひ申し上げます。

[署名]

ブライアンD. スミス

cc: マイケル・クラウド議員殿